

## 校歌と神田川

2017. 6. 10

6年生に、神田川の思い出を聞きました。

6月1日は、戸三小のお誕生日でした。給食も、「祝 92」という昆布が載っているお祝いのお寿司でした。お誕生日の日に、みんなで校歌を歌ってお祝いすればよかったなと後から思いました。

校歌といえば、この間「ふるえ、ふるえ 第三戸塚」っていうけれど、学校は寒いのと聞かれました。この「ふるえ」は、「ふるいなさい」ということだと思います。「ふるう」というのは、充実する、勢いがさかんになるということ・・・発展するという意味です。私は、戸三小の校歌がとても好きで、特に最初の歌いだしの「神田の流れ」のところと、2番の「校風の美」と「栄光とわに」が好きです。この「栄光とわに」は、校庭の日時計にも書かれていますね。「栄光とわに」は「栄光」・・・輝かしいこと、立派なこと、大きな幸せ、周りからの素晴らしい評価が、「とわ」・・・永遠にずっとという意味です。この歌詞のように、戸三小が、これまでも、今も、これからも素晴らしい学校として続いていくように、私も頑張っていきます。

さて、この校歌にも出てくる「神田川」は、みなさんにとって、親しみのある川です。戸三小の4年生は毎年「神田川ファンクラブ」の活動に参加し、新宿区の「みどり公園課」の方と一緒に学んでいます。今週の木曜日に、1回めのファンクラブの活動がありました。結成式をして、神田川に下りて「生き物」を探しました。川底のでこぼこのあるところに網を当てて、少し川の水をかき回すと、沼エビやすじエビやヤゴが網の中に入りました。小さいエビでしたが、みんなでとったエビを水槽に入れると、こんなにたくさんいるのだと感心するほどでした。神田川の水に酸素がどのくらい含まれているか、どのくらい汚れているかをパックテストや機械や透視管などを使って調べることもしました。昔と比べて、川がきれいになっているということでしたが、その謎を、4年生はこれから解き明かしていってください。

さっき、神田川でエビやヤゴを見つけた、と言いましたが、「ヤゴ」という生きものを知っていますか。ヤゴというのはトンボの幼虫です。トンボは空を飛びますがヤゴは水中で生活します。水から上がって行って背中が割れて、羽のあるトンボが出てくるのって、とても不思議です。なんだか似ているような似ていないようなトンボとヤゴですが、どちらも肉食で、トンボはカやハエ、ヤゴはミジンコやボウフラというカの子を食えます。

ヤゴやトンボの出してくるお話もたくさんあります。14ひきシリーズにもトンボの話がありますし、ぐりとぐらのシリーズにもあります。トンボのうんどうかい、かいぶつトンボのおどろきはなし、とんぼのあかねちゃんなどです。図鑑や写真集もあります。図書館で探してみてください。